

在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス



代表 宇都宮宏子様 略歴

【略歴】

1959年福井出身

1980年 京都大学医療技術短期大学部 看護学科卒業

医療機関で看護師として勤務、高松の病院で訪問看護経験し在宅ケアの世界に入る

1992年、京都の訪問看護ステーションで勤務、介護保険制度創設時、ケアマネジャー・在宅サービスの管理・指導の立場で働きながら、病院から在宅に向けた専門的な介入の必要性を感じ

2002年、京大病院で「退院調整看護師」として活動

2012年4月より、『在宅ケア移行支援研究所』起業独立

医療機関の在宅移行支援、地域の医療介護連携推進、在宅医療推進事業研修・コンサルテーションを中心に活動

【その他の公的活動】

●京都大学医学部人間健康科学学科非常勤講師 ●聖路加国際医療大学臨床教授

●京都府看護協会（在宅ケア推進委員、在宅移行推進事業委員、退院支援・看取り支援人材研修委員等） ●東京都看護協会（退院支援強化事業委員長）

●奈良県 面倒見のいい病院評価指標作成委員

●奈良県立医科大学在宅看護特別教育プログラム委員

●滋賀県東近江退院支援ルール評価検討事業アドバイザー

●聖路加国際大学教育センター「退院調整看護師養成プログラムと活動支援」企画メンバー

●京都 ACP 看護研究会共同代表 ●セコム医療システム(株)退院支援・在宅事業担当

●日本ホスピス・在宅ケア研究会理事 ●京都式認知症ケアを考えるつどい実行委員

【賞罰】

○京都府知事看護功労賞（2014年） ○佐川看護特別賞（2014年）

○厚生労働大臣賞 優良看護職員（2017年）

【主な書籍】編著・共著

●「チームで行う退院支援」中央法規 共著 2008年8月

●「退院支援実践ナビ」医学書院 2011年3月

●「これからの退院支援・退院調整」日看協出版会 2011年4月

●「退院支援・退院調整ステップアップ Q&A」日看協出版会 2012年5月

●「看護がつながる在宅療養支援」日看協出版会 2014年6月

● 退院支援ガイドブック～「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえて関わる
2015.8月 学研メディカル秀潤社

● 新体系看護学全書「終末期看護：エンドオブライフケア～第4章退院支援」
2017年12月 メジカルフレンド社

○ 特集「地域みんなで取り組む退院支援」在宅新療 0-100:ヘルス出版 2017.10